

館林厚生病院だより 2017.2.10

りれいと



vol. 61

理念

信頼、安心 すべては、患者さんのために

基本方針

1. 常に医療資源を効率的に利用し、医療の質と経済性の調和をめざす
2. チーム医療に取り組み、安全な医療と快適な療養環境を提供する
3. 地域医師と共助し、住民の健康を支える病院となる

HP <http://www.tatebayashikoseibyoin.jp/>

認知症について考える-第10回館林邑楽医療フォーラム-

2月4日(土)午後1時30分より、館林市三の丸芸術ホールにおいて、「第10回館林邑楽医療フォーラム ～誰にでも起こりうる だから知ってほしい、認知症のこと～」を開催いたしました。

これは地域住民のみなさんの医療と健康に責任を持つ公立医療機関として、医療の現状を伝え、共に考える機会を持つことで、安心できるまちをつかっていきたいという考えから企画したものです。

特別講演では、群馬大学名誉教授であり、認知症介護研究・研修東京センター センター長の山口 晴保 先生が「認知症予防のライフスタイルと、認知症にやさしい地域づくり」と題しまして認知症についてのご講演をいただきました。

今回のフォーラムで認知症は長生きすれば誰もがなりうる病気であり、95歳を過ぎると8割が認知症になるという現状を知り、認知症をネガティブにとらえるのではなく、ポジティブにとらえることで心豊かに過ごせる時間が増えるということを学びました。

当日は天候にも恵まれ、たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。



特別講演の山口 晴保先生

第10回館林邑楽医療フォーラム
～誰にでも起こりうる
だから知ってほしい、
認知症のこと～

参加費無料
どなたでも参加できます
※事前申込が必須です

現状報告 ※地域の医療従事者等による現状報告

- 認知症の気持ちを知る～豊かな生活のために～
館林厚生病院 認知症看護認定看護師 小野 道子 看護師
- 群馬県の認知症施策について
～地域で認知症の人と家族を支えて行くために～
群馬県健康福祉部介護高齢課 認知症対策主監 滝池 久美子 氏
- 地域生活と認知症初期集中支援
館林厚生病院 地域包括ケアセンター副センター長 高橋 聡 医師

特別講演
演題：認知症予防のライフスタイルと、
認知症にやさしい地域づくり
講師：山口 晴保 氏
群馬大学 名誉教授
認知症介護研究・研修東京センター センター長

日時：平成29年2月4日(土)
午後1時30分～午後4時30分(受付開始：午後1時00分)
場所：館林市三の丸芸術ホール
住所：館林市城町1-2
定員：先着150名 ※事前申込要
(事前申込受付期間：平成28年12月20日(火)～ 定員になり次第終了
下記、申込受付窓口にお電話でお申込みください。)
【お申込み・お問合せ】※受付時間：8:30～17:15(土日祝日除く)
医療フォーラム 申込受付窓口 TEL. 0276-76-2032
主催 館林厚生病院 / 後援 館林市邑楽医師会

面会手続きのお願い

当院では患者さんの安全を考慮し、平成29年2月1日から、全ての時間帯において、面会受付用紙のご記入と面会者カードの着用を実施いたしました。ご理解とご協力をお願いします。

面会受付場所

- ・ **平日日中**：各病棟エレベータ前（午前7時～午後5時）
- ・ **上記以外の時間帯**：1階正面玄関及び北玄関(救急・夜間入口)

- ① 面会受付場所に“面会受付用紙”を用意してありますので必要事項を記入して下さい。（複数人の場合は代表者）



- ② 記入した用紙を回収BOXへ投入して下さい。



- ③ “面会者カード”の着用は面会者全員でお願いします。（小学生以下は不要）



- ④ 面会終了後、回収BOXへカードを返却して下さい。

面会受付用紙

| 面会日時 | 月 日 | |
|----------|---------|-------|
| | 午前・午後 | 時 分 |
| 病棟名 | 東・西 | |
| 部屋番号 | 4・5・6・7 | 病棟 号室 |
| | リハビリ | |
| 患者さん氏名 | | |
| 面会者氏名 | | |
| 患者さんとの続柄 | 親族・知人 | 面会人数 |
| 面会者カード番号 | | 人 |

 日本老年精神神経学会
館林厚生病院



看護師日記

～認知症看護認定看護師のご紹介～

私は、館林厚生病院の東4階病棟に勤務している、認知症看護認定看護師の小野と申します。

認知症看護認定看護師の役割は、認知症の方がその人らしく豊かに生活できるように支援することです。認知症の方や家族をはじめとした認知症の方を介護する方の困っていることを解決し、笑顔で生活できるようにすることです。

現在、高齢者の4人に1人は認知症またはその予備軍といわれ、認知症は身近なものになっています。認知症の方の症状は、その方の人生の送り方に影響を受け1人1人違います。同じ方であってもその時の体調や認知症の進行、環境の変化などにより、その時々で症状が違います。入院により混乱している認知症の方の症状やその方の持つ力を見極め、穏やかに入院生活を送れるように支援させていただきます。

現在は、入院中の認知症の方を含む高齢者の方から、人生観やその思いなど勉強させていただいています。たくさんの方と接することで、様々な人生について学ばせていただきたいと思います。そのため、病院内だけに留まらず、地域でも活動していきたいと考えています。年相応の物忘れから始まり、認知症になるのではないかと不安を抱えている方、認知症の症状から地域での生活に困難を感じている方、介護に困っている方などの相談に乗らせていただきたいと思います。よろしくお願いします。



当院からのお願い

- ❖ 保険証は毎月1回必ず提出してください。
- ❖ 面会時間は午後1時から午後7時までです。入院されている方のためにも時間を守るよう、ご協力ください。

糖尿病食の紹介 糖尿病といわれたら…

糖尿病の食事は、過食や偏食をせずに規則正しく食べることが基本です。

- ① 食事を抜いたり、まとめて食べない、1日3食規則正しく食べる。
- ② ゆっくりと良く噛んで、腹八分目に。
- ③ 毎食、食卓には、主食＋主菜(魚・肉・卵・大豆製品は1食に1皿)＋野菜料理3皿程度を並べる。
- ④ 果物は1日1個、牛乳(ヨーグルト)はコップ1杯程度。
- ⑤ 塩分を控える。
- ⑥ お菓子は週に3日以下、少量を昼間に。
- ⑦ アルコールは適量で毎日飲まない。

館林厚生病院 糖尿病食 1,600kcal ある1日の紹介

<朝食>



★メニュー&調理のポイント★

- ご飯(150g)
- 味噌汁(かぼちゃ・かんぴょう)
- 鮭缶
- ポテト人参きんぴら煮: 砂糖&醤油少なめ、だし汁使用
- みかん(L)1個

エネルギー - 501kcal たんぱく質 17.1g 脂質 5.8g 食塩相当量 2.0g

<昼食>



- ご飯(150g)
- さば味噌煮: 砂糖なし、しょうが&だし汁使用
- 野菜炒め煮: 砂糖&醤油少なめ
- きゅうりキムチ和え
- 牛乳(200ml)

エネルギー - 605kcal たんぱく質 27.8g 脂質 18.1g 食塩相当量 2.0g

<夕食>



- ご飯(150g)
- 豚肉しょうが焼き: にんにくも使用
- スパゲティーケチャップ炒め
- わかめサラダ: ノンオイルドレッシング使用
- 大根ときゅうりの浅漬け
- パイナップル

エネルギー - 541kcal たんぱく質 20.2g 脂質 13.9g 食塩相当量 1.9g

1日あたり エネルギー 1,647kcal たんぱく質 65.1g 脂質 37.8g 食塩相当量 5.9g

糖尿病は食事療法が必要です。長く続けていくことが大切です。

どんな食事を食べたらいいのかなど、詳しく知りたい場合は、ぜひ管理栄養士にご相談ください。

編集後記

2月に入り、まだまだ寒い日が続いています。肌刺すような寒さを感じる日も多くなってきました。

体調を崩されないよう、ご自愛ください。

担当 N

発行：館林厚生病院
(広報・年報委員会)

〒374-8533

群馬県館林市成島町262番地の1

TEL 0276-72-3140(代) FAX 0276-72-5445



「りれいと」とは「結びつける (relate)」
という意味の英語です。